

番組「すたあと おとにあわせてどうぶつになろう」を活用した本時案

月

埼玉県戸田市教育委員会 若村 健一

日

活動名 おとにあわせて どうぶつになろう

活動のねらい さまざまな音を聞いて、その音に合わせて体を動かす楽しさを味わうことができるようにする。

本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 番組を視聴する。 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">「おとにあわせてどうぶつになろう」</div>	○開始前に「 すたあとの歌 」の踊り方クリップを見て、楽しく始められる雰囲気作りを行う。
10	2. 番組の中で出てきた音を基に、どんな動物に聞こえたか確認する。	○「おとにあわせてどうぶつになろう」の3分30秒付近の音を流して、どのような動物に聞こえたか確認する。 ○それぞれが感じた動物の動きを実際にやってみるようになる。一人一人の捉え方を尊重し、感じた動物の動きを自由に行うことができるようにする。 (※クリップ「 このおとはどんなどうぶつに聞こえる? 」)
15	3. すたあ先生が最後に問いかけに出した音を聞いて、どのような動物に聞こえたか出し合い、体を動かす。	○番組の4分40秒～最後までを視聴し、すたあ先生が演奏した音がどのような動物に聞こえたか出し合う。 ○実際にどのような動きができそうか、動きながら考えることができるようにする。 ○音は常に流しておくようにして、音に合わせて動きを考えることができるようにする。 ○面白い動きをしている児童がいればその動きを取り上げ、全体でその面白さを共有することができるようにする。
5	4. 活動を振り返る。	○音に合わせて体を動かしてみてどうだったかを投げかけ、楽しかったことや感じたことなど、自由に子どもたちの反応を取り上げていく。

★番組活用の別案

- ・活動2において、教師が実際に鍵盤ハーモニカで音を出してその音を基にどんな動物に聞こえたか考える活動にしても面白いでしょう。
- ・活動3において、同じ動物同士で集まって、その動物の特徴を表すためにどのような動きができるか考えて、友達と一緒に動く活動にするのもよいでしょう。

新型コロナウイルス対策で配慮すること

- ・活動を行う際には、マスクを着用して行うようにしましょう。
- ・体を動かす際には、隣の人との間隔が保てるように広めの教室で活動ができるようにしましょう。



NHK

Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation). All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。